

令和4年度蒲郡市男女共同参画プラン推進委員会 議事概要

開催日時	令和4年10月11日（火） 午前10時から11時30分まで
開催場所	蒲郡市役所 北棟集会室
出席者	男女共同参画プラン推進委員会 【委員】 （敬称略） 委員長：浅井 なお枝（蒲郡にじの会 会長） 副委員長：小林 直美（愛知工科大学 工学部 准教授） 竹村 菜緒（愛知県男女共同参画社会支援セミナー修了生） 鳥山 眞浩（蒲郡社会福祉協議会 事務局長補佐） 西村 嘉子（株式会社ニデック 人事部人事課上級主任） 藤井 克枝（蒲郡市教育委員会学校教育課 課長補佐） 神田 藤男（蒲郡市総代連合会 副会長） 芦刈 純奈（蒲郡若者議会運営委員会） 松井 英樹（蒲郡市協働まちづくり課 課長） （欠席：丸山 慎太郎（蒲郡青年会議所 理事）） 【事務局】 城田 愛弓（蒲郡市協働まちづくり課 課長補佐） 稲熊 廉（蒲郡市協働まちづくり課 主事）
内容	1 あいさつ 2 議題 令和4年度数値目標及び進捗状況について 3 その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・委員名簿 ・第3次蒲郡市男女共同参画プラン令和4年度数値目標調査表 ・第3次蒲郡市男女共同参画プラン令和4年度進捗状況調査表 ・男女共同参画に関連するイベントチラシ
会議内容	1 あいさつ ○資料の確認 ○出席者あいさつ ○委員長、副委員長の選出 ○委員長あいさつ ・第1回策定委員会の委員からプラン策定に関わっている。プランが少しずつでも進んでいることがうれしい。2年の間で男女共同参画について知ってもらい、深めていけたらよい。 2 議題 令和4年度数値目標及び進捗状況について （事務局から概要説明） （以下、各委員からの意見） <ul style="list-style-type: none"> ・DVについて、基本理解を広く周知できるようにしてほしい。 ・日本は世界水準では理工学系の女性学生が少ない。そこに対する取組状況を確認したい。中学校での混合名簿についてはどうなっているか。進路選択において女子学生の理工系への後押しがどれくらい進んでいるか。（工科大では、機械系は毎年2%くらい、

- ロボット系は0%~2%くらい、情報系は5%くらいが女性で少ない) 国は3割まで上げたいと言っており、理工系に女性が少ないことは、結果的に女性の視点が欠けた商品開発につながる。
- ・進路指導においては、本人がやりたいことを重視しており、後押し的な支援は進んでいない。
 - ・女の子だから数学が得意でも文系となってしまうため、先生に対するアンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に関する研修を進めることも必要だと思う。
 - ・中学の混合名簿について、進めたい認識はあるが、現状では全校で実施できていない。
 - ・ぜひ進めてほしい。数値として見えるものなので
 - ・1次プランから男女混合名簿について進める方針であったが、学校では男女別の方がよいなどの考えがあり、進んでいないのではと思う。
 - ・所属企業の女性管理職の割合は2.8%であり、勤続年数が追いついていない。男女の勤続年数の差が影響していると考えている。過去においては、40代~50代の社員は出産を機に辞める人が多かったが、最近は出産後復職する社員が大半となっている。こういった傾向は今後も増えていくだろうと考えている。(所属企業では、管理職は課長代理以上の役職の者が該当する)
 - ・ゆったりした気持ちで子育てできているかについて、自分は親や実家の協力があるから「はい」としたが、改めて考えてみると、子育ては大変なので、まだまだ数値よりも進んでいないのではないかと思う。もっと施策を検討できるといい。ヤングエイジ検診やガン検診などは、会社でやっている検診と似た項目で、本当に受けた検診が受けられる制度になっているのかと感じる。例えば、乳がん検診は若い人は受けられないなど(現状40歳以上)若い人にもニーズがあることを健康推進課に伝えてほしい。
 - ・防災講座に参加する女性の割合については、地域の防災訓練を実施する際には、組長などは半強制的に出ており、女性は3割くらいいるイメージ。
 - ・女性に特化した防災講座をやらなければ女性への防災意識は向上しない。小学生、中学生から自ら動く防災講座を進めてほしい。
 - ・目標値として掲げていることから、防災セミナーの際には必ずジェンダー統計をとってほしい。(危機管理課へ伝えてほしい) 多様なニーズに配慮した避難所運営に関して、女性の意見を避難所の運営に取り入れ、女性や多様な人への配慮を進める流れが強くなっている。備蓄品に関しても同様である。世界の中ではジェンダーギャップ指数が120と非常に低い。また、障がい者、外国人、性的マイノリティも含め多様な人の意見を取り入れた避難所運営を進めてほしい。
 - ・ワークライフバランスを実現するには介護や子育てが関係すると考えており、家庭介護教室を実施しているが、参加者が少ない。地域包括支援センターを中心に企画を立てているが、家族介護教室としてどんな企画がみなさんに興味を持ってもらえるのか教えてほしい。
 - ・集いがあっても、平日の昼間の開催が多いため、実施介護があつて行けない事情がある。曜日や時間を変えてみたり、周知が課題

	<p>ではないか。出かけられないところのハードルを考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none">・月に1回平日水曜日ということで参加できなかった。とても参考になる会なので、隔月でも良いが曜日を変えてもらえると助かる。・Web 会議も考えてほしい。介護離職の問題もあるため、企業などと組んでいかに支えていくかを考えないといけない。企業を対象とした企画もよいのではないかと思う。・コロナで若年女性の自殺が急増している。原因の一つに失業率との関連が高いとの研究結果がある。誰にも相談できずに死を選ぶ若い女性がいるため、そこを救い上げる対策を地域などと一緒に考えていく必要がある。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・本会議は基本的に年に1回の開催であるため、次回は令和5年度に同様の会議を開催する。
--	--